



6年ぶりの団体優勝 第49回沖縄県畜産共進会

11月7日、南部家畜市場で令和5年度第49回沖縄県畜産共進会が開催されました。糸満市からは2頭と1組が出品し、各部門で優秀賞を受賞しました。また、第49回(肉用牛)団体賞を6年ぶりに受賞しました。糸満市和牛改良組合の玉城薫組合長は「去年は僅差で負けてとても悔しい気持ちでしたので、今年はリベンジをかけて個別の受賞や団体賞をとれてとてもうれしいです」と話しました。



税金の大切さを学ぶ 税に関する標語・作文の表彰式

令和5年度糸満市租税教育推進協議会表彰式が11月17日に市役所で開かれ、小中学生の「税に関する標語」14人、中学生の「税についての作文」7人が表彰されました。代表幹事の屋良教育長は「児童生徒の皆さん受賞おめでとうございます。標語は市内小中学校7校から699点、作文は中高5校から460編の応募があり、非常に有意義な取り組みとなりました」とあいさつしました。



地元糸満で優勝を目指して 第38回日本ペタンク選手権大会

11月18日から19日にかけて、南浜公園多目的広場と糸満南小学校で第38回日本ペタンク選手権大会が開催されました。

開会に先立ち、11月17日にはシャボン玉石けん くくる糸満で歓迎レセプションが行われました。

18日の開会式では、当銘市長が「糸満市で日本ペタンク選手権大会が開催されることは大変喜ばしく、糸満市民を代表して心から歓迎いたします」とあいさつをしました。

沖縄県代表として、糸満市から大城セツ子さん、島袋照子さん、儀間シズ子さんが参加し、白熱した試合を展開しました。惜しくも予選敗退となりましたが、島袋さんは「県を代表し地元開催の大会に出場できてとてもうれしいです。予選2試合目の埼玉県代表は強い相手でしたが勝てて良かったです」と話しました。

19日のジュニア部門には、糸満南小学校の児童らが出場し、県外の代表チームに一步も引かず勝利を目指す様子が見られました。

子どもが夢と希望を持てる環境を 子どもの未来応援基金へ200万円の寄付

有限会社当銘興産の当銘哲代表取締役が10月26日に市役所を訪れ、子どもたちのために役立ててほしいと、糸満市子どもの未来応援基金に200万円を寄付しました。当銘代表取締役は「子どもたちが生まれ育った環境に左右されことなく、夢と希望を持てる環境を整えていただきたいです。また、子どもたちへの食事支援などにご尽力されている団体のお力になりたいです」と話しました。



親子の絆と防災知識を深めよう! 令和5年度地域交流・防災訓練

11月3日、糸満市民生委員児童委員連絡協議会、南区自主防災会、前端区自主防災会、糸満市社会福祉協議会の共催で、地域交流・防災訓練が行われました。訓練は赤い羽根共同募金団体助成金を活用し、糸満・西崎地区の民生委員児童委員を中心に新聞紙スリッパや段ボールイスづくりの防災ワークショップやカレーの炊き出しが行われました。



災害復興を支援します! アメリカ・ハワイ火災救援金贈呈

11月6日、糸満市赤十字奉仕団主催による防災講演会を前に、アメリカ・ハワイ救援金の贈呈が行われました。日本赤十字社沖縄支部の上間事務局長は「ハワイ火災の救援に対し、ご理解とご協力をありがとうございます。現地では今なお避難生活を余儀なくされている人がおり、切れ目のない支援が必要です。託していただいた支援金は支援者に届けることを約束します」とお礼を述べました。



西崎中学生がスポーツで大活躍! 各種競技の入賞報告

11月6日、さまざまな体育大会で優秀な成績を収めたとして、西崎中学校の生徒が報告するため市役所を訪れました。野球部の渡具知哲太さんは「県大会では準優勝で悔しい結果でした。募金してくれた人や支えてくれた親、監督に勝利で恩返ししたいです。優勝旗を持って帰れるように頑張りますので、応援よろしくお願いします」と話しました。

